

講演会

“家族”が語る「ひきこもり」

講演会後は小さな交流会を開催！

2027年 **1/29** (金)

13:30—16:30 (開場 13:00—)

13:30—15:00 講演会

15:20—16:20 小さな交流会 (当日に別途受付します)

【定員】

100名程度

参加費無料

ハイスタッフホール (観音寺市民会館)

多目的ホール (観音寺市観音寺町甲1186-2)



登壇者
ともmama
母親

長男・次男の発達障害・不登校・ひきこもりと向き合う。子どもらの「波」を見守りながら、現在は子育て支援・障害福祉で支援者としても活動中。



登壇者
しんちゃん
父親

息子が高校1年生から現在まで不登校・ひきこもりと向き合う。家族会などに参加し、様々な「関わり方」を学びながら子どもを見守っている。



コーディネーター
宮武 将大

一般社団法人hito.toco代表理事。小学6年生の時に不登校になり、そのまま20歳までひきこもり生活を送る。家族の関わりと働くことがきっかけとなり社会復帰。2014年から自分の経験を活かし、支援活動に取り組む。



【主催】香川県、一般社団法人hito.toco、ひきこもり支援関係者ネットワーク会議

【協力】観音寺市、三豊市、高松市、丸亀市、多度津町、まんのう町、観音寺市少年育成センター、ひきこもり地域支援センターアングランテ西讃保健福祉事務所、高松市社会福祉協議会、社会福祉法人ラーフ、香川県ひきこもりサポーター

【後援】観音寺市、観音寺市教育委員会、三豊市、三豊市教育委員会

本イベントは香川県「令和8年度 ひきこもりサポーターを活用した多様な居場所事業」として一般社団法人hito.tocoが受託し企画しています。

講演会“家族”が語る「ひきこもり」

身近な人が「ひきこもり」で心配だけど、どう接したら良いか、どんな思いなのか分からないと感じたことはありませんか。この講演会では、実際にひきこもり当事者を支える家族の立場の方が、当時の思いや身近な人ができること、考えたい視点などについてお話しします。

「ひきこもり」や「生きづらさ」は誰でも感じる可能性があります。
安心して生きられる社会づくりのために、一緒に考えてみませんか。



【日時】1月29日(金) 13:30-16:30 (開場 13:00-)

13:30-15:00 講演会 15:20-16:20 小さな交流会

【会場】ハイスタッフホール(観音寺市民会館)多目的ホール

【対象】ひきこもり当事者・経験者、家族、支援者、関心のある方などどなたでも

【定員】100名程度・参加費無料(事前受付を優先し、当日受付も実施予定)

1/24(日)締切

事前
受付



二次元コードから事前受付フォームを開いてお申込みください。

フォーム送信後、ご入力いただいた内容の控え(自動返信メール)が届きます。

※メールが届かない場合は、迷惑メールフォルダなどをご確認ください。

(お電話かメールでの
申込みはこちら)

一般社団法人hito.toco

【お電話】087-802-1911(平日9:00~17:00)

【メール】hikisapo@hitotoco.or.jp

本イベントでは、このような取り組みや現状を広く知っていただくため、新聞やテレビ等の取材を受け入れる場合があります。
その場合は参加者の方々のプライバシーと安心・安全の維持に最大限配慮します。

小さな
交流会

小さな交流会は、ひきこもりの当事者・経験者やご家族、支援者、地域の方など「ひきこもり」に関心のある方同士で集まる座談会です。講演会を聞いてみて感じたことや考えなどを共有することで少しでも気持ちが軽くなったり「悩んでいたのは自分たちだけではなかった」と思える時間になればと思い開催します。座談会ですが聞いただけでも構いません。お気軽にご参加ください。

- 講演会の終了後にあらためて小さな交流会のご案内・受付を致します。
- 60分程度を予定しておりますが、ご自由に休憩・途中退室していただけます。



一般社団法人hito.tocoとは



2016年に設立。不登校やひきこもり等による生きづらさを抱えた方への支援や、就職を目指す障害のある方への就労支援サービスなど、生きることの選択肢を増やすために人と社会がつながるきっかけをつくる活動を行っています。一人ひとりの生きづらさがある前提で一緒に未来を考えたい。お互いが「あなたがいてよかった」と思える社会の実現を目指して。

ひきこもり支援関係者
ネットワーク会議とは



行政・民間団体・家族会・ひきこもりサポーター等、複数の立場からなる会議体です。ひきこもりをはじめ様々な生きづらさを抱える人やそのご家族が集う「場」をつくることを目的に活動しています。